

# インドネシアとフィジー・トンガにおける地震観測

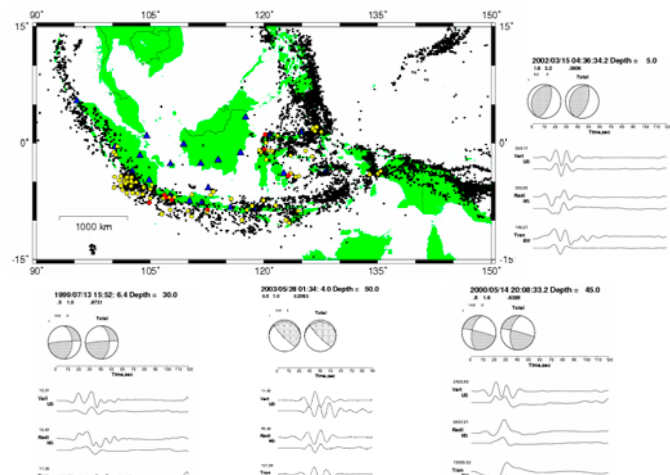
インドネシアおよびフィジー・トンガ周辺の南西太平洋において各国の地震観測機関と共同で広帯域地震観測を行い、地震発生メカニズムの研究と地震・津波監視システムの高度化を実施しています。フィジーとトンガではJICAによって整備された地震観測網の建設と運用に協力しています。このほか太平洋地域では米国IRISと協力して広帯域地震観測網の整備・運用を行っています。

## ■ インドネシアにおける地震観測

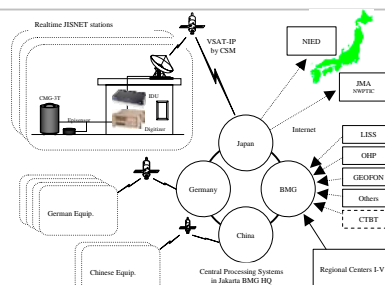


スマトラ島における地震観測点保守

2004年度までインドネシア気象地球物理庁と共同で21箇所のオフラインの広帯域地震観測を実施し、震源メカニズム解析や地殻上部マントル構造解析を行ってきました。2004年12月に発生したスマトラ巨大地震津波災害を契機に、インドネシアおよびドイツ、中国と共同で津波早期警報のためのオンライン地震観測網の構築を行っています。2005年度は15箇所の観測点の衛星テレメータ化と自動震源決定システムの導入を行いました。



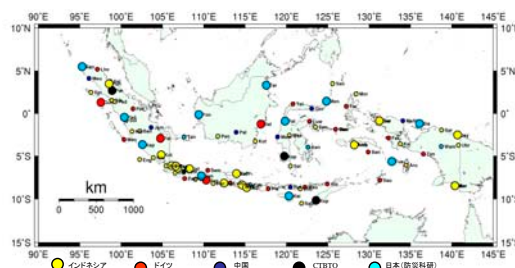
インドネシアにおけるオフライン広帯域地震観測点(▲記号)と震源メカニズムカタログ作成の例



4カ国協力による衛星テレメータ地震観測システム



2005年6月にジャカルタで開催された4カ国会議



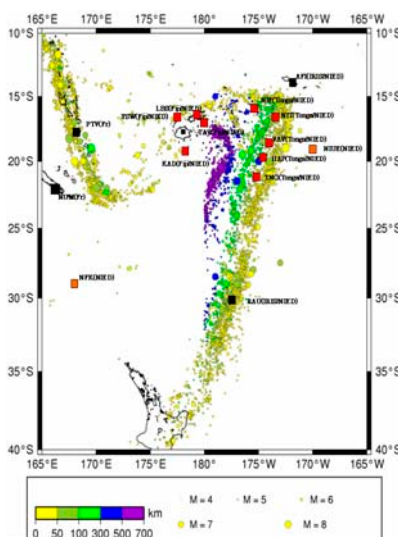
小さい記号は2006年5月現在未整備  
4カ国協力による衛星テレメータ地震観測網建設計画(2005-2007)

## ■ フィジー・トンガにおける地震観測

フィジー・トンガ地域は世界で最も深発地震活動が活発な場所として有名ですが、地震動や津波による被害をもたらす浅い地震も発生します。我々はこの地域に広帯域地震計を展開して地震発生メカニズムの研究を行うとともに、JICAによって整備された両国の地震・津波監視のための衛星テレメータ地震観測網の整備・運用に協力しています。



フィジーにおける地震観測点建設



南西太平洋の地震活動と地震観測点

## ■ データの利用

集められたデータはデータ管理センターで編集・アーカイブされ共同研究に利用されています。



( 申込先 <http://www.isn.bosai.go.jp/en/> )